

海洋高校合格体験記 No.13

国立波方海上技術短期大学校専修科合格

3年 米田 壘（長岡京市立長岡第四中学校卒業）



私は、航海士になりたいと思い地元を離れ海洋高校に進学しました。そこで、2年次から航海船舶コースに入り、船に関して学びました。

進路は、親にこれ以上負担をかけたくないと思い、フェリー会社や内航海運への就職希望でしたが、親が「2年ぐらい心配するな」と言ってくれたので、

わずか2年間で四級海技士の航海と機関の両方の免状を取得できる海上技術短期大学校に進学しようと思いました。

そして、指定校推薦をいただくために、四級海技士（航海）の筆記試験に合格しようと思い、2年の1月から専門の先生に補習をしていただき、2月に合格することができました。そして、より上級を目指そうと思い3年の6月に部活を引退してから再び補習をしていただき、7月に三級に合格することができました。そして多くの先生に水産大学校への進学を勧めていただきました。

また、私自身も再び就職したくなりましたが、いくら筆記試験に合格しても免状を持っているわけでもなく、実践的な知識や技術がほとんどないので、わずか2年間で四級海技士の航海と機関の両方の免状を取得でき、航行の難所である来島海峡航路の近くで学べる国立波方海上技術短期大学校に進学しようと思えました。そして、指定校推薦をいただき、合格することができました。

合格まで、多くの先生にお世話になりました。本当にありがとうございました。今後は、高校在学中に二級の筆記試験に合格し、進学してからは、機関の勉強に専念し、自分にあう方を見つきたいです。そして、将来は大型のフェリーか内航貨物船の航海士又は機関士として働き、船長か機関長になります。